

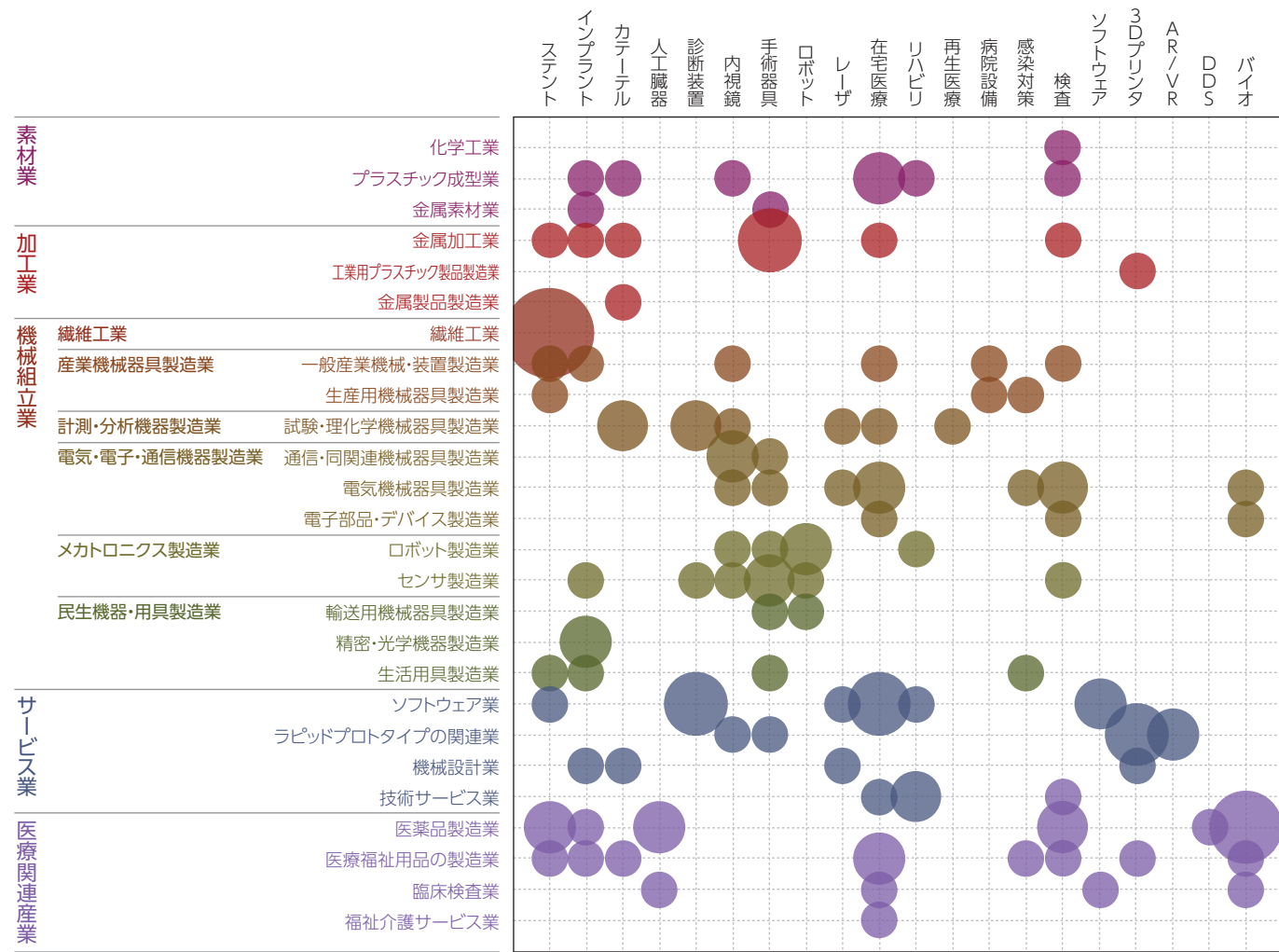
3. 医療機器分野への参入企業分析

元の業種・企業規模とターゲット医療機器・参入業態の関係を分かりやすく解析

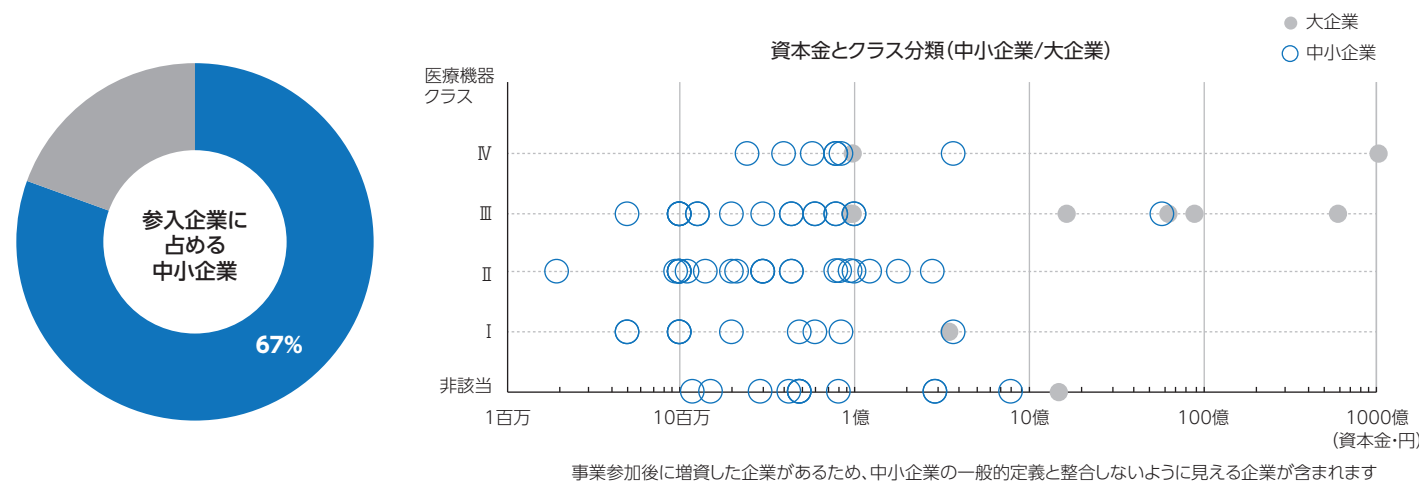
医療機器分野への参入を果たした企業が、本業がどんな業種で、どのような医療機器に挑戦してきたか、企業規模とテーマの相関について分析しました。分析したのは医工連携事業化推進事業(AMED・経済産業省)の平成25年度から29年度までの採択テーマのうち、新規参入企業が関与する56テーマ・83社・63品目です。情報は同事業ポータルサイトから収集しました。

分析の詳細は <http://md-network.pj.aist.go.jp/?p=9974> まで

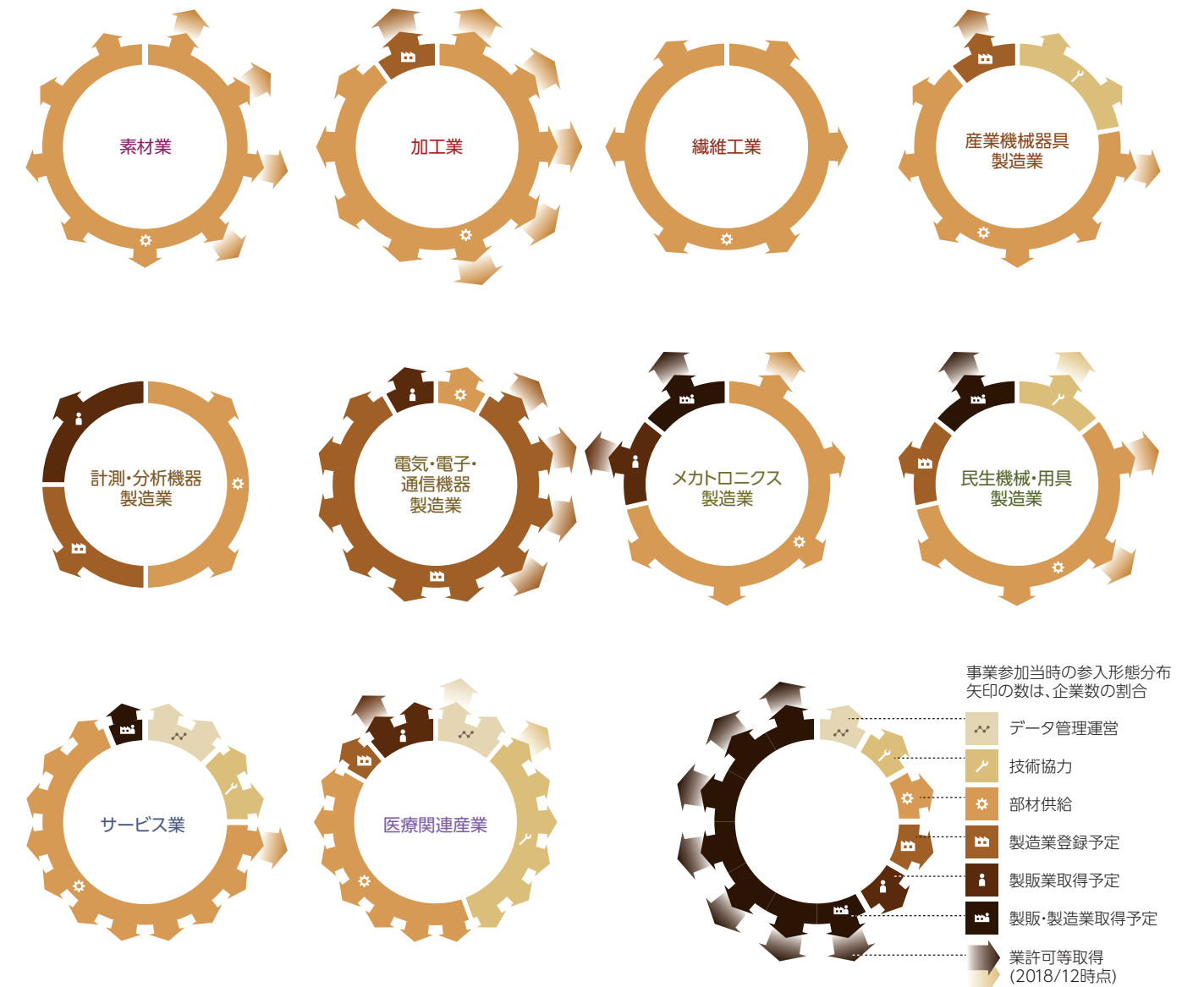
業種ごとの挑戦製品分野：意外なところにも可能性あり



中小企業の活躍：医療機器クラス分類の高い挑戦製品も



業種ごとの参入形態：部材供給が多いが、その中から業許可を取った企業も



医療機器分野への参入には多様な形態が存在します。薬機法の製造販売業(製販業)となることだけではありません。多くの企業が同法の許可・登録を要さない「部材供給」で参入していることが浮き彫りになりました。一方、中小企業だから古い業種だから部材供給やクラスの低い品目といった分布は全く見られませんでした。果敢に困難なテーマにも挑戦している中小企業も少なくありませんでした。この分析が「諦めていた挑戦を再検討する」といったきっかけになれば幸いです。

業種の分類は、日本標準産業分類(総務省)に準拠しています。概ね同分類やそれに基づく中小企業分類と同じです。主としてテーマ採択当時の情報に基づく分析のため、若干の誤差を含んでいる可能性があります。各テーマは開始から1~数年であることから成功不成功はまだ判定できません。活動停止に至ったテーマも含まれています。この分析は参入の成功を約束するものではありません。ご了承ください。